

# 「はじめに」

秋田県スキー連盟 教育本部

本部長 浅石 敦 幸

今年も教育本部メモを発刊する時期となりました。

指導員の皆様も、雪の上に立てる日を今か今かと待ち望んでおられることとご推察申し上げます。

昨年度のシーズンインは例年どおりの降雪があり大いに期待していたところ、その後の積雪に恵まれず、指導者研修会も八幡平会場は何とか出来たものの田沢湖会場ではもう一降りに泣かされ座学での講習を余儀なくされました。

しかしながらその分、深く理論を理解できたと思えば之も又スキー技術の向上につながる大切な肥やしとなったことでしょう。今シーズンは順調に降ってくれるのを願うのみであります。

また、昨年度からの登録料の値上がりで懸念されておりました会員登録については、やはり残念ながら全国では3,000名ほどの減少となってしまいました。

幸い秋田県に於いては前年と同程度の登録でありましたので、皆様のスキーへの熱き思いに感謝申し上げるところでございます。

全日本関係では、スキー技術選のデモンストレーター選考会の選考基準が、昨年までの総合成績の順位での選出ではなく、指導種目を大会の中に取り入れ実技を含めて選考することになりました。

また、指導員・準指導員の受検年齢を準指導員では18才以上、指導員では21歳以上に引き下げ、早い段階での検定に臨めるよう改訂が為されましたので、各所属団体におかれては大いにPRされ準指導員・指導員資格の取得に向けて送りだしていただきたいと思っております。

それと、パトロールの研修会参加義務年数が3年から2年に変更となりました。

ブロック研修会から各県連での研修会に変更され受講し易くはなりましたが、今後とも資格喪失とならないよう十分ご確認の上受講されるようお願いいたします。

さて、昨シーズンは秋田県スキー連盟にとっては大変嬉しい出来事がございました。

そうです・・長野県で開催された国民体育大会スキー競技会で、天皇杯・皇后杯の2冠をダブルで獲得できたことです！

天皇杯も皇后杯も、どちらか一方でも獲得は非常に大変なことですが、同時に獲得できるとは県連始まって以来の、正に快挙であります。

好成績を上げられた選手の皆さんはもとより、選手を支えてくれた役員・コーチの皆さん、トレーニングの場を提供いただいた各施設の皆さんには深く敬意を表したいと思います。

他方、我々教育本部においては、一体どのような評価が為されるのでしょうか？

競技本部においては各種大会での成績が強化の表れとなって出てきますが、教育本部の評価はどうなのでしょう？

それは、一つには会員数の増加、もう一つには指導員受検の合格率、更にもう一つにはスキー技術選での成績が対象になるのではないかと考えております。

- ・秋田県は凄いな…毎年会員が増えているじゃないか！
- ・今年も秋田県は全員が合格だ！
- ・秋田県は連れてきている選手のレベルも高いしデモも何人もいる…凄い！

このような成果が教育本部の評価だろうと思います。

どれも県連が一丸となって取り組み、受検者・出場者の指導強化に当たらなければこのような評価にはつながりません。

そして、県連というのは執行部ではなく所属団体の、各スキークラブの皆様です。

競技同様、各々の立場でクラブ員を指導育て、資格の取得や技術選への出場等、更なる高みに向けて挑戦させる取り組みがあって初めて成し遂げられるものだと考えております。

スキー界が低迷し人口減が取り沙汰されておりますが、支えているのは我々一人ひとりであります。ということは我々が頑張れば抜け出せるということでもあります。

どうぞ県連のためスキー界のため今一度奮起し、楽しく、活発に、賑やかに盛り上げてくださるようお願いいたします。

今シーズンも良きシーズンとなりますよう祈念いたしております。